

2 0 2 2 年 度

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

事 業 計 画 書

学校法人 貞静学園

東京都文京区大塚一丁目2番10号

電話 03(3943)3711

2022年度 事業計画書

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

学校法人貞静学園

学校法人貞静学園は2022年度に創立92周年を迎えます。創立以来、本学園は、各学校に学生・生徒・園児数増減の波はありましたが、建学の精神である「至誠（心から誠実・真摯に人と向き合う）」、「和敬（人を敬い人と協調していく）」、「慈愛（人やものを慈しみ愛する）」を基盤として、「これからの社会に役立つ、人間性豊かな知性と教養ある人材の育成」をめざし、教職員の教育力・指導力の充実を図るとともに、学生・生徒・園児が充実した学園生活を送れるよう、教育環境を整える努力をしてきました。

しかし、2020年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、2021年度も2020年度と同様、授業形態も対面やオンライン、そして対面とオンラインの併用等、緊急事態宣言やその時の状況により対応を変えて実施したりクラブ活動や様々な行事も延期・中止と変更せざるを得なかった場合も多々ありました。このような大変な中でも園児・生徒・学生たちが充実した学園生活を送ることができるよう、各学校が保育・勉学や行事等に工夫を凝らして頑張ってきました。

コロナ禍の終息が見えない現況でも、学校に求められるのは、教員の教育力（幼稚園の場合は保育力）、職員の業務遂行力の向上、学生・生徒の学力・満足度の向上であることはいまでもありません。2022年度も、各教員が授業の内容を検証しつつその授業内容をより良い広報活動につなげられるよう、全学園的に引き続きFD活動、SD活動を強化していきます。

短期大学は、短大をめぐる状況がさらに厳しくなっている状況下で、募集活動をより一層強化し定員を確保しなければなりません。また、教職員による学生指導・支援体制を全面的に強化し、さらに地域貢献・社会貢献、官学連携の強化、グローバル人材の養成から「国際交流」（2022年度はオンラインになる予定）にも力を入れていきます。

高等学校は、目指す目標・方針を明確にし、「建学の精神」がより一層学校生活に反映するよう、教職員が日常生活のいたるところで、細やかな指導・助言を重ねていきます。また、募集活動に力をいれ、志願者等に関するより一層綿密な分析を行い、進学実績向上をめざし受験指導に力を入れていきます。

中学校は、日常生活を送る上での常識となる基本を徹底するために、きめ細やかな生徒指導を実施し、一人ひとりの生徒の学力の向上をめざしていきます。

幼稚園は、保育力の強化を図り、園児が充実した幼稚園生活が送れるよう、また保護者の満足度が増すよう保育環境の工夫を強化していきます。

事務職員は、法人事務局を中心として、学園の事務組織体制を検証するとともに、各学校事務部職員が様々な研修等に参加し、SD活動を強化し、業務能力の向上を目指していきます。

本学園の財務面における現状は、依然として厳しい状態にあり、その改善のためには、引き続き学生・生徒・園児の定員確保に全教職員で取り組み、各自が財務状況の厳しさを認識し、各学校が無駄な出費をおさえ、節約に励み、財務改善を実施していくことを喫緊の課題として取り組んでいきます。

以上

I. 学校法人の概要

1 設置する学校・学科等

(1) 学校法人の設立年月日 昭和16（1941）年4月28日

(2) 設置する学校・学科等

学校名	開校年月日	学部・学科等	摘要
貞静学園短期大学	平成21年 4月 1日 (2009)	保育学科、専攻科介護福祉専攻	
貞静学園高等学校	昭和23年 3月10日 (1948)	全日制課程普通科	
貞静学園中学校	昭和22年 4月 1日 (1947)		
貞静幼稚園	昭和30年11月25日 (1955)		

2 各学校・学科等の収容定員、現員の状況

2022年4月1日予定

学校名	入学定員 (人)	収容定員 (人)	学生数・生徒数・園児数 (人)			
			1年次	2年次	3年次	計
貞静学園短期大学						
保育学科	150	300	73	77	—	150
専攻科介護福祉専攻	40	40	16	—	—	16
貞静学園高等学校	300	900	207	165	128	500
貞静学園中学校	50	150	17	15	15	47
貞静幼稚園	35	105	38	40	47	125
合計	575	1,495	351	297	190	838

3 教職員数の概要等

学校別の教員数及び職員数

2022年4月1日予定

(単位：人)

区分		法人	短期大学	高等学校	中学校	幼稚園	計
教員	本務	0	18	35	4	10	67
	兼務	0	16	35	15	1	67
職員	本務	4	11	8	2	1	26
	兼務	1	0	7	0	3	11
学校計		5	45	85	21	15	171

II. 事業の概要

1 貞静学園短期大学

I. 事業の目標

1. 学生募集の充実・強化
2. 官学連携、地域貢献、公開講座の強化
3. 教育活動並びにFSD活動による教員と事務職員との連携強化
教員の教育力、事務職員の業務能力の向上
4. 学生指導・支援体制の強化
5. グローバル化に向けた国際交流関係事業の充実
6. 緊急時・災害時への対策

II. 事業の内容

1. 学生募集の充実・強化

※到達目標：保育学科入学者：定員120名確保、専攻科介護福祉入学者：2桁確保

(ア) オープンキャンパスの戦略的展開

コロナ禍の影響による高校生等の進路活動の現状から、早期来校を集中的に強化し、出願に繋げる。3月下旬～7月下旬は、高校内及び会場ガイダンスが多く、また三者面談の実施等、進路活動が活発になるため、この時期に来校を促すように早期の広報展開をすすめていく。また、1人あたりのオープンキャンパス参加校数が減少しており、1校目の参加校が重要となるため、他の学校（短期大学、専門学校等）との比較を考慮した上で、本学の魅力をしっかりと伝える効果的な広報活動を実施していく。

開催曜日は、私立・公立高校とも授業が多いことや保護者の職業柄等を鑑み、参加しやすい日曜を中心とし、参加機会拡大のために午前・午後開催をメインとする。実施・運営内容については、企画運営委員会と入試委員会の連携による緻密な計画に基づき、入試・広報課を主導に全教職員で取り組んでいく。

(イ) 高等学校への広報活動や連携の活性化

- ・出張授業およびガイダンス、本学実施の体験授業の強化

各高等学校での出張授業・ガイダンス等の要望に対して、積極的に参加していくとともに、その成果については全教職員で共有し、共通認識を深め、次の出張授業・ガイダンスに活かしていく。ガイダンス時においても、説明にくわえて実践部分を取り入れた手法を展開する。また、可能なかぎり出張授業・ガイダンス時には出身高校の学生も同伴する等、より現役高校生が本学を選択するような戦略を取る。

- ・高校訪問の充実と進学説明会の在り方の検討
- ・貞静学園高等学校と本学の間で定期的に会議を行い、高大接続を目指す。

(ウ) WEB戦略

コロナ禍の影響により、受験生の進路活動におけるWEB活用度が増加している状況をふまえ、これまで実施してきたYouTubeでの動画配信と、Instagram・Twitter・LINE

によるSNS広報活動を充実、強化していく。またWEB広告を主体とし、高校生の実態に合う「インターネット検索」の対策を強化する。

本学の情報発信の元となるホームページの充実や流入導線の強化、各進学情報サイトへの出稿など、WEB上での情報発信の充実をはかる。

(エ) 入試手法全般の見直し

(オ) 広報活動につながる学内体制の整備・充実

「学生募集」において広報は一要素にすぎず、授業や学生生活、卒業後の進路をはじめ、ステークホルダー全体の満足度向上が必要となるので、全教職員、各セクションで「学生募集」を強固にするための課題の洗い出しと具体的な改善を行う。

2. 官学連携、地域貢献、公開講座の強化

※到達目標：貞静学園短期大学の学科の特性を生かし、他大学との差別化を図った地域貢献を実施

(ア) 官学連携

- ・文京区との連携事業として「文京区子育てサポーター認定制度のための子育て支援員研修」開催（開発費・企画費・教材費等獲得）。4回開催
- ・文京区との「災害時における母子救護所の開設に関する協定書」に基づく、キャリア教育を含めた活動を主に、大塚警察署、小石川消防署とも連携していく。
- ・文京アカデミア講座の実施（夏休み子どもアカデミア講座、秋季アカデミア講座の実施）

(イ) 地域貢献事業の拡大

コロナ禍の状況に応じて地域貢献を行う

- ・地域のお祭り、大塚警察行事等への積極的ボランティア参加
- ・東京都、文京区が開催するイベントへの参加（協力行事多数）
- ・校舎貸出（体育館等）、児童館等への出張等

(ウ) 各種公開講座の開講（本学主催）

各種公開講座を継続して実施していく。（含、文京区教育委員会後援による公開講座）

3. 教育活動ならびにFSD活動による教員と事務職員との連携強化 教職員の資質向上

※到達目標：2020年度実施短期大学認証評価を受け、自己点検・評価を継続していく。

(ア) 自己点検・評価活動の継続、研修事業への積極的参加

(イ) SD活動の活性化（事務職員の専門性の向上）

(ウ) 教員の外部資金獲得による研究活動の活性化

(エ) FD活動の活性化。教員の授業研究及び教育力の向上

(オ) 本学独自のFSD活動のため、教職員合同研修会の実施

4. 学生指導・支援体制の強化

※到達目標：卒後教育も含めた学生の学習成果の向上

- (ア) 入学予定者のための入学前教育の強化
- (イ) 特待生・奨学生制度、修学支援新制度の継続
- (ウ) 卒後教育の展開を図るための戦略の検討
- (エ) 卒後教育のための同窓会との連携強化（図書事業・講演会等）
- (オ) 学生のボランティア活動充実のための支援体制強化
- (カ) 本学独自教科「キャリア教育」の実施
- (キ) 「アセスメントテスト」（基礎学カリサーチ）を毎年実施し、学生の基礎学力を把握

5. グローバル化の推進

- (ア) オーストラリアブリスベンにあるグリフィス大学とのオンライン研修を検討
- (イ) 韓国・釜山にある東洲大学校との国際交流実施への検討
（コロナウイルス感染状況により中止になる可能性有）

6. 緊急時・災害時への対策

※到達目標：コロナ禍における対策の継続。来る災害への備え。大学施設設備の整備

- (ア) 防災備蓄（飲料水・非常食・防災用ヘルメット・消毒用アルコール・マスク）
- (イ) 施設・設備の安全管理

2 貞静学園中学校・高等学校

I. 事業の目標

1. 生徒募集活動の強化
2. 教学の発展
3. グローバル教育の推進
4. キャリア教育
5. 教員の教育力の向上
6. 災害時の備え・施設設備の維持管理
7. 教職員の業務環境整備

II. 事業の内容

1. 生徒募集活動の強化

※到達目標：中学募集 15 名、高校募集 200 名（中高総募集人数 215 名）

<注力点>

- ・2021 年度の活動を分析・検証し、効率化・能率化を図りながら訪問活動を展開する。
- ・授業・課外活動・コースなど日々の活動を HP・YouTube・Facebook に活用し、リアルタイムな情報を発信する。
- ・説明会や受験イベントへの来校率を上げ、出願率向上を目指す。
そのために塾・中学校へのアプローチの強化、特に塾訪問においては外部委託（インターエデュ）を継続利用する。
- ・特に中学入試において、受験者数を増やすための入試制度の見直し・改定を行う。

<注力項目>

(ア) 新コンセプトに基づく学校案内作成と認知度向上

◆コンセプト

- ・共通：生徒の不安な心情を青で、それに対する先生の対応・フォローを赤で表現し、それが合わさりスクールカラーの紫になる、というストーリーを視覚的に表現する。

◆キャッチコピー

高：TEISEI colors make my style. 中：TEISEI colors make each style.

(イ) 塾・中学校訪問の強化

(ウ) HP・YouTube・Facebook の活用

(エ) 校内外の説明会、体験入学、受験相談会の充実

(オ) 入試要項の見直し・整理

2. 教学の発展

※到達目標：大学短大 80%以上・G-MARCH10 件を目指す、日東駒専や大東亜帝国の進学者増、学び直しによる検定合格者の増加

<注力点>

※教務的分野

- ・「新学習指導要領」の趣旨を踏まえた教育活動、学習指導の充実。
- ・英語・数学を中心に学び直しを充実させ、生徒の基礎学力を向上させるとともに、検定試験合格者の増加を目指す。
- ・学力試験などの振り返りを生徒教員ともに行い、PDCA サイクルをまわす。

※進路指導的分野

- ・受験講座、各種講習会の充実（「4. キャリア教育」参照）

※ICT 教育分野

- ・iPad を活用し、スタディサプリや Teams などのアプリを利用して、生徒⇄生徒、生徒⇄教員の双方向授業を推進する。
- ・オンラインでも基礎学力定着および入試演習ができる指導方法の研究

<注力項目>

- (ア) 「新学習指導要領」と「学び直し」の連携
- (イ) ICT 教育と学習効果の検証
- (ウ) 基礎学力の定着に向けた重点指導
- ※ その他 ・生徒の防災意識の向上 ・iPad 活用方法やルールの随時更新

3. グローバル教育の推進

※到達目標：4 技能強化、英検の合格者数増

<注力点>

- ・国籍や生活スタイル、宗教、価値観の多様性に留まらず、物事をどう見るか、どのように分析したり評価したりすることができるかという視点を身につけ自己実現する。
- ・スタディサプリ English の導入・活用、JET による英会話指導により、4 技能対応・英検の合格者数増を目指す。

<注力項目>

- (ア) JETプログラムの活動計画の多様化を促進
授業、英検対策、ESS部活動
- (イ) 英検上級クラス取得化の促進
朝学習での単語力向上、英会話の授業内での英検リスニング、ライティング対策
英検対策講座の実施、
- (ウ) 英語体験活動（TGG、オーストラリア、ニュージーランド、weblio英会話）

4. キャリア教育

※到達目標：生徒の学習意識を向上させ、進学に向けた具体的なアクションにつなげる。

<注力点>

- ・上級生による進学に向けた「体系的・実践的」及び「基礎的・汎用的」情報、社会人による高校段階での学びや進学に関連する情報の提供。
- ・コース別ステップアップ、学校における基礎的、発展的な情報提供。
- ・入試における進路情報の精査及び共有。
- ・コース長と連携したコースの特色の確立。
- ・各教科と連携し、大学進学に向けた指導体制の確立。

<注力項目>

- (ア) 進路講演会、社会人講話
- (イ) 志望理由書・小論文・面接対策講座
- (ウ) 総合的な探究の時間の充実
- (エ) コース交流会
- (オ) 進路情報・受験情報の収集・分析・精査

5. 教員の教育力向上

※到達目標：教育の最新情報に触れ、社会のニーズに応じた教育活動を行う。

<注力点>

- ・教職員の「新学習指導要領」の研究と、授業力向上に向けた取り組みの充実。

<注力項目>

- (ア) 各種研修会・勉強会への参加
- (イ) 教員評価の実施
- (ウ) 学校力向上に向けた PDCA サイクルの充実

6. 災害時の備え、施設設備の維持管理、未来を見据えた安定的な施設・設備の整備

※到達目標：管理業務予定等に沿って、定常的メンテナンス及び更新工事の実施、災害予防対応などを行う。また、未来を見据えた安定的な施設・設備の整備を行う。さらに、防災備蓄品の管理や救急救命講習による教員の救急救命スキルの向上を目指す。

<注力項目>

- (ア) 防災備蓄品と装備の充実
 - (新入生用防災備蓄品サバイバル3の確保、備蓄品の発注・入れ替え管理)
- (イ) 救急救命・防犯への対応力強化（救急救命講習会、防犯訓練）
- (ウ) 情報セキュリティ対策の強化
- (エ) 定期的メンテナンス
 - 防災等設備定期点検、消防設備改修工事、電気設備部品交換等
 - (特に緊急性の高い設備や電気機器から行う。印刷業務の環境維持)
- (オ) 給排水設備更新、エレベーター部品交換
 - 第一体育館ロールバックチェア制御機器・本体駆動部品更新工事
 - 教室内の電子黒板機器の段階的な整備

7. 教職員の業務環境整備

※到達目標：優秀な教員の確保や維持に向けた取り組みを推進

<注力項目>

- (ア) 教職員支援
 - 例 慶弔費、ストレスチェックなど
- (イ) 業務・作業の効率化
 - ・ICT等の積極的活用による校務の効率化（電子承認システム等）

例 経費精算システム（電子化）、office365、教務システム（Siems）
通学順路票

- 校内備品の充実

例 備品の安定的な調達、機能的な備品の調査

- 印刷業務の環境維持

例 試験前等の定期メンテナンス

3 貞静幼稚園

I. 事業の目標

1. 園児募集活動の充実
2. 保育力の強化
3. 保育の充実と保育環境の整備
4. 災害時の備えの強化

II. 事業の内容

1. 園児募集活動の充実

※到達目標：年少組入園者数48名

- (ア) 見学会・入園説明会の充実
- (イ) ホームページによる園だよりの充実
- (ウ) 転入園児の積極的な受け入れ

2. 保育力の強化

※到達目標：園児の成長をより支援するために保育力を高める

- (ア) 研修会への積極的な参加
- (イ) 園内研修の充実

3. 保育の充実と保育環境の整備

※到達目標：保育環境の向上を目指し、保護者の満足度を高める

- (ア) キッズ英語の実施
- (イ) 体操教室・サッカー教室・パズル教室の実施
- (ウ) 保育室用ピアノの入れ替え購入
- (エ) 園児用机の入れ替え購入

4. 災害時の備えの強化

※到達目標：災害時に園児を安全に避難させる。

また、園舎の安全性の向上を行う

- (ア) 避難訓練の充実
- (イ) 安全点検の充実
- (ウ) 外壁の修繕